

2020. 1. 14

1月例会

日時 令和二年一月十四日(火)

テーマ グローバル化とイノベーションの経営学

講師 立教大学経営学部教授

秋野 晶二 氏



秋野 晶二 氏

■ 略 歴

1982年慶應義塾大学商学部卒業、1984年同大学院商学研究科経営学会計学専攻修士課程修了、1988年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。
立教大学経済学部専任講師、助教授、准教授、同大学経営学部准教授を経て現職。
研究テーマは、技術、生産と企業経営。

【書籍内容紹介】

企業間関係の調整を通じたグローバル化とイノベーションによる現代企業の成長パターンの理論的歴史的的位置付けとその実態を解明

Globalization and Innovation Management

Open markets and organizational Coordination

グローバル化とイノベーションの経営学

開かれた市場と企業組織による調整

秋野 晶二 | 關 智一 | 坂本 義和
山中 伸彦 | 井口 知栄 | 荒井 将志 編著

税務経理協会

グローバル化とイノベーションの経営学,税務経理協会 (2018/10/25).

立教を超えてゆく、立教です。

まれにみる経営学部



立教大学 経営学部HP <http://cob.rikkyo.ac.jp/>



2020. 2. 19

2月例会

日時 令和二年二月十九日(水)

テーマ 純粋機械化経済

講師 駒澤大学 経済学部 准教授

井上智洋氏

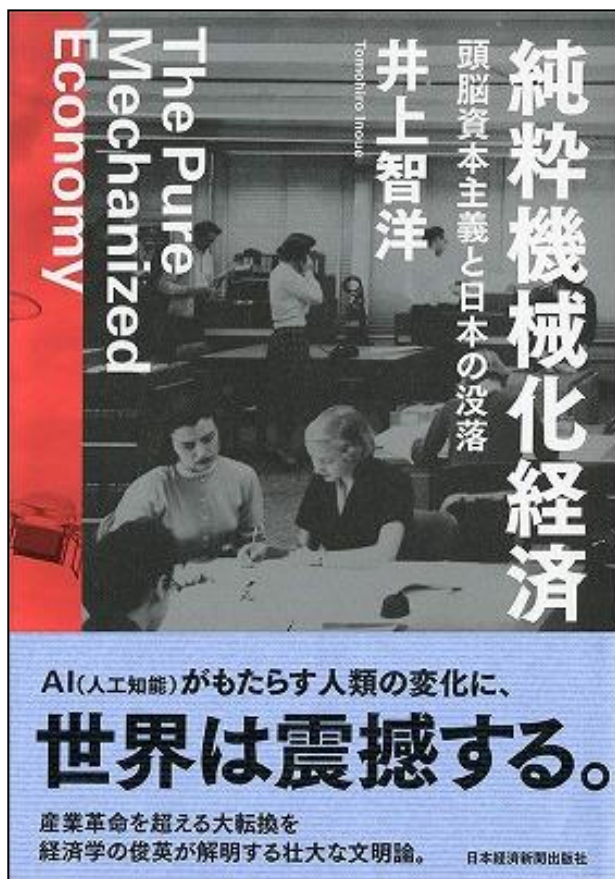


井上智洋氏

■ 略 歴

駒澤大学経済学部准教授、早稲田大学非常勤講師、慶應義塾大学SFC研究所上席研究員、総務省AIネットワーク化検討会議構成員。博士(経済学)。

慶應義塾大学環境情報学部卒業。2011年早稲田大学大学院経済学研究科で博士号取得。早稲田大学政治経済学部助教、駒澤大学経済学部講師を経て、2017年より同大学准教授。専門はマクロ経済学。AI社会論研究会の共同発起人。



純粋機械化経済 頭脳資本主義と日本の没落, 日本経済新聞出版社 (2019/5/24)



人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊, 文藝春秋 (2016/7/21)

2020. 3. 30

3月例会

(「」講演は7月14日に延期、3月30日はe-lecture)

日時 令和二年三月三十日(月)

テーマ Sustainable Development Goals (SDGs) の達成

に向けた科学技術イノベーションの新たな視点

講師 国際連合工業開発機関東京投資・技術移転促進事務所所長

安永 裕幸 氏

■ 略 歴

1986年 東京大学工学部修士課程(資源開発工学)修了後、通商産業省(当時)に入省。NEDO技術開発機構 企画調整部総括課長、経済産業省 産業技術環境局 研究開発課長、経済産業省 原子力安全・保安院 ガス安全課長、資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課長、経済産業省 大臣官房審議官、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 理事・企画本部長、同 参事等を経て現職。博士(工学)。

安永 裕幸 氏



国際連合 持続可能な開発に関するグローバル・レポート2019

未来は今:

持続可能な開発を達成するための科学

<抄訳版>

日本翻訳 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
監修 国際連合広報センター

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGS)

2020. 4. 16

4月例会

(「」講演は9月7日に延期、4月16日はe-lecture)

日時 令和2年4月16日(木)

テーマ 野生化するイノベーション

講師 早稲田大学商学学術院教授

清水洋氏

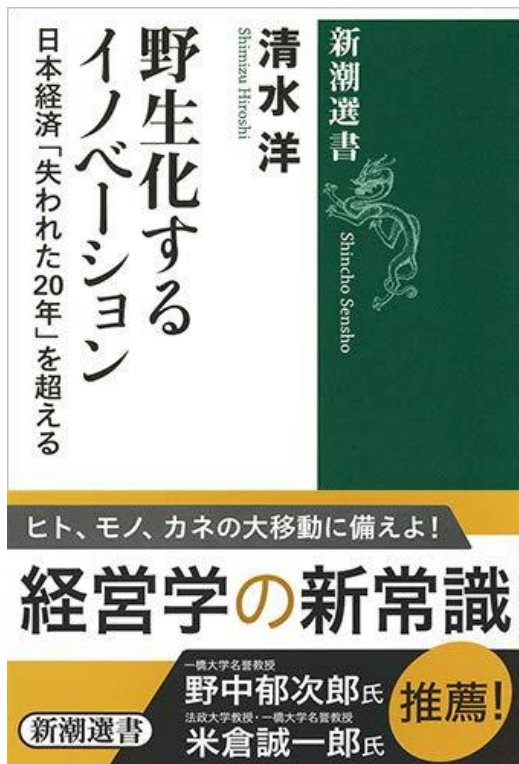


清水洋氏

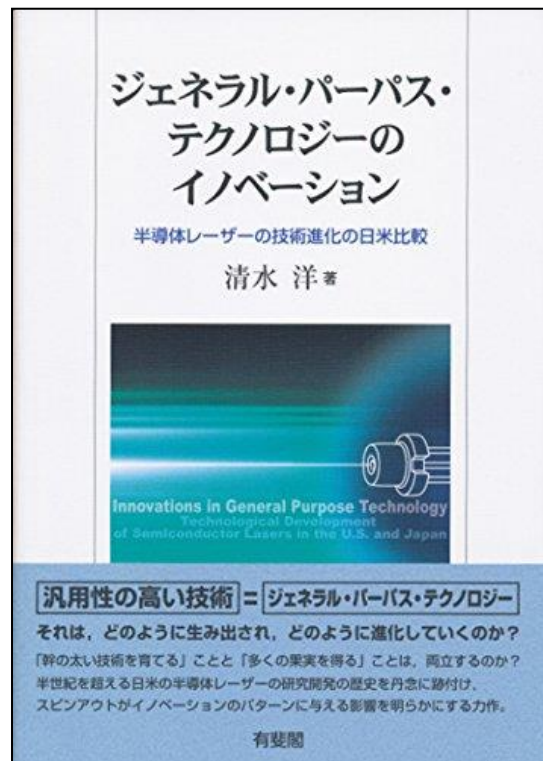
■ 略 歴

1997年中央大学商学部卒業、1999年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、2002年ノースウエスタン大学歴史学研究科修士課程修了。2007年、ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスよりPh.D.(経済史)。アイントホーヘン工科大学ポストドクトラル・フェロー、一橋大学大学院イノベーション研究センター教授を経て現職。

『ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション:半導体レーザーの技術進化の日米比較』で日経・経済図書文化賞と高宮賞受賞。



野生化するイノベーション: 日本経済「失われた20年」を超える, 新潮社 (2019/8/21)



ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション - 半導体レーザーの技術進化の日米比較, 有斐閣 (2016/3/31)

2020. 5. 14

5月例会

(ご)講演は10月13日に延期、5月14日はe-lecture)

日時 令和2年5月14日(木)

テーマ IoTの革新 日本に好機

講師 慶應義塾大学教授 慶應義塾常任理事

國領二郎氏

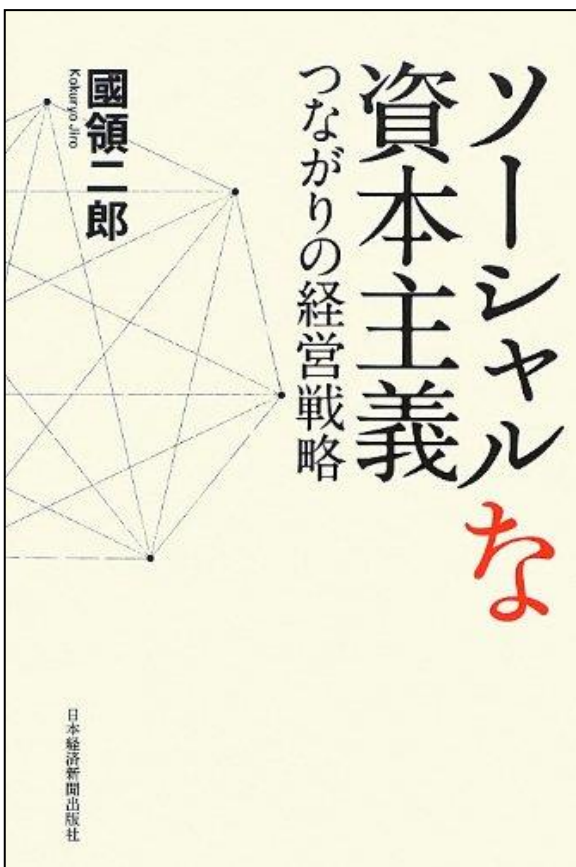


國領二郎氏

■ 略 歴

1982年東京大学経済学部卒。日本電信電話公社入社。92年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。93年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。2000年同教授。2003年同大学環境情報学部教授などを経て、2009年総合政策学部長。2005年から2009年までSFC研究所長も歴任。2013年より慶應義塾常任理事に就任。

主な著書に「オープン・アーキテクチャ戦略」(ダイヤモンド社、1999)、「ソーシャルな資本主義」(日本経済新聞社、2013年)。



経済教室, 5Gが開く未来(上)IoTの革新 日本の好機, 日本経済新聞朝刊 (2019/12/3)

ソーシャルな資本主義, 日本経済新聞出版社 (2013/3/16)

2020. 6. 9

6月例会

(一)講演は11月10日に延期、6月9日はe-lecture)

日時 令和2年6月9日(火)

テーマ 韓国を蝕む儒教の怨念

『日韓はなぜ和解しえないのか』

講師 拓殖大学 国際学部 教授

呉善花氏

呉善花氏 ■ 略歴

呉善花氏

韓国・済州島生まれ

1983年 来日し、大東文化大学(英語学専攻)の留学生となる。その後 東京外国語大学大学院修士課程修了(北米地域研究)

2004年～現在 拓殖大学 国際学部 教授



〈主要著書〉

- 『攘夷の韓国 開国の日本』 (文藝春秋、第5回山本七平賞受賞)
- 『スカート風の風 (正・続・新)』 (三交社・角川文庫)
- 『日本復興の鍵 受け身力』 (海竜社)
- 『私はいかにして日本信徒となったか』 (ワック出版)
- 『韓国併合への道 完全版』 (文春新書)
- 『なぜ世界の人々は日本の心に惹かれるのか』 (PHP研究所)
- 『なぜ反日韓国に未来はないのか』 (小学館)
- 『日本にしかない「商いの心」の謎を解く』 (PHP新書)
- 『韓国を蝕む儒教の怨念』 (小学館新書) 2019/8発売 など多数



韓国を蝕む儒教の怨念: 反日は永久に終わらない, 小学館 (2019/8/1)

7月例会

日時 令和二年七月十四日(火)

テーマ Sustainable Development Goals (SDGs) の達成

に向けた科学技術イノベーションの新たな視点

講師 国際連合工業開発機関東京投資・技術移転促進事務所所長

安永 裕幸 氏

■ 略 歴

1986年 東京大学工学部修士課程(資源開発工学)修了後、通商産業省(当時)に入省。NEDO技術開発機構 企画調整部総括課長、経済産業省 産業技術環境局 研究開発課長、経済産業省 原子力安全・保安院 ガス安全課長、資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課長、経済産業省 大臣官房審議官、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 理事・企画本部長、同 参事等を経て現職。博士(工学)。

安永 裕幸 氏



国際連合 持続可能な開発に関するグローバル・レポート2019

未来は今：
持続可能な開発を達成するための科学

〈抄訳版〉

日本語訳 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
監修 国際連合広報センター

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs)

8月例会

日時 令和二年八月二十六日(水)

テーマ 『イノベーター』で読むアパレル全史

講師 株式会社Kaori Nakano 代表取締役、昭和女子大学客員教授

中野香織氏

■略歴

1994年、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程単位取得満期退学。英国ケンブリッジ大学客員研究員・東京大学教養学部非常勤講師・明治大学国際日本学部特任教授を務めた。日本経済新聞・読売新聞・北日本新聞・LEON・kotoba・婦人画報.jpで連載中。著書に『ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史』(吉川弘文館)、『紳士の名品50』(小学館)、『ダンディズムの系譜 男が憧れた男たち』(新潮社)、『モードとエロスと資本』(集英社)など。

中野香織氏



「イノベーター」で読む アパレル全史

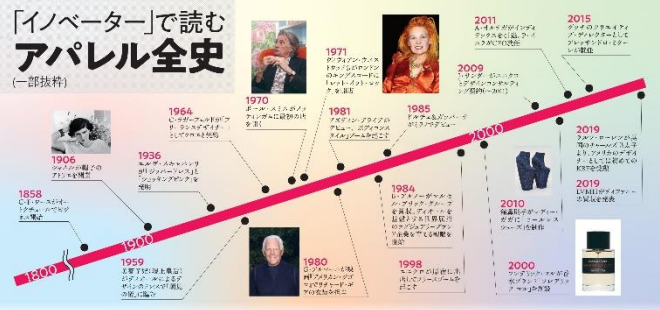
中野 香織著

イノベーターで読む
アパレル全史

イヴ・サンローラン、ジョルジオ・アルマーニ、森英恵、柳井正など国内外の著名なファッションデザイナー、アパレル経営者などの足取りをコンパクトにまとめている。タイトルに「イノベーター」を使っているのはアパレルを通して、社会に驚かさ、女性解放、多文化主義、グローバル化などの変革をもたらしたことを強調したかったからだろう。ファッション、アパレルブランドの発展、変遷は社会文脈と切り離せない。1960年代に貴族への憧れが強い米国に

社会に与えた影響の変遷

そのライフスタイルをイメージさせることに成功したラルフ・ローレンの「POLO」(1967)。50年代後半、ミスカートを商品化する若者文化を導いたマリナー・クワント。下着のブランド化に成功したカルバン・クラインは香水でも名を轟かせ、その香りは90年代にユニセックス・ファッションを後押しした。創造性、独創性のあるイノベーターたちにも例外なく後継者問題が横たわる。M&A(合併・買収)によって没したブランドが新たなグループを形成してさらに飛躍するものもある。昨今、アパレルを取り巻く環境は激しいが、いつの時代もアパレルが常識を変えていく原動力になっていることを伝えてくれる。(日本実業出版社・1800円)



アパレルの常識、そして社会までも劇的に変えた
ゲームチェンジャー
変革者たちが一気にわかる!

「イノベーター」で読むアパレル全史 中野香織 著 日本実業出版社

「イノベーター」で読む

アパレル全史

Apparel Innovators
中野香織
Nakano Kaori

シャネル、ディオール、サンローラン、ラガーフェルド、アルマーニ……

流行を創った変革者に学ぶ

日本実業出版社 定価 本体1800円(税別)

「イノベーター」で読む アパレル全史, 日本実業出版社 (2020/1/18)

2020. 9. 7

9月例会

日時 令和2年9月7日(月)

テーマ 野生化するイノベーション

講師 早稲田大学商学学術院教授

清水洋氏

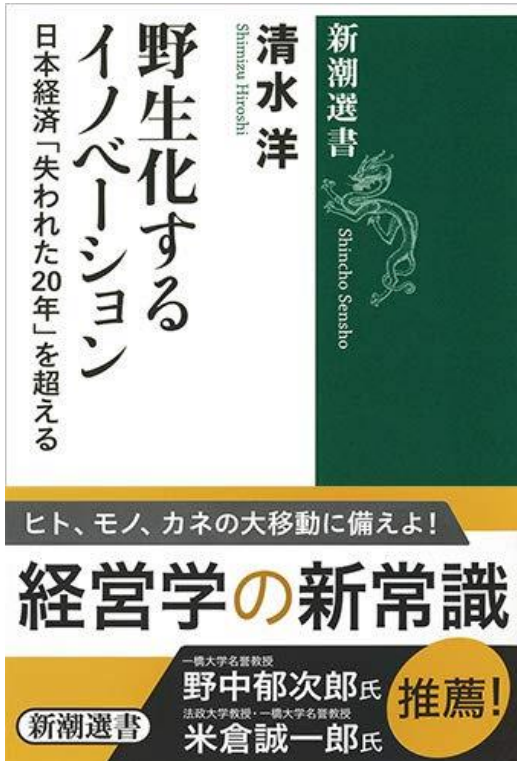


清水洋氏

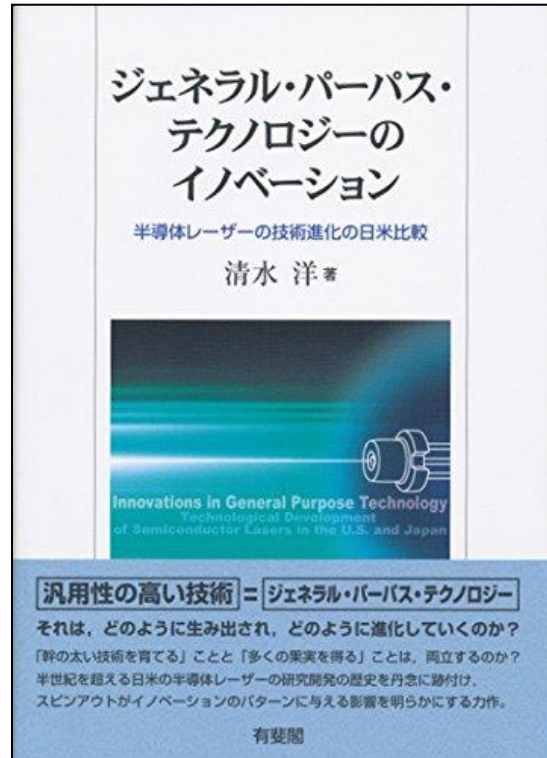
■ 略 歴

1997年中央大学商学部卒業、1999年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、2002年ノースウエスタン大学歴史学研究科修士課程修了。2007年、ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスよりPh.D.(経済史)。アイントホーヘン工科大学ポストドクトラル・フェロー、一橋大学大学院イノベーション研究センター教授を経て現職。

『ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション:半導体レーザーの技術進化の日米比較』で日経・経済図書文化賞と高宮賞受賞。



野生化するイノベーション: 日本経済「失われた20年」を超える, 新潮社 (2019/8/21)



ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション - 半導体レーザーの技術進化の日米比較, 有斐閣 (2016/3/31)

10月例会

日時 令和2年10月13日(火)

テーマ IoTの革新 日本に好機

講師 慶應義塾大学教授 慶應義塾常任理事

國領 二郎 氏



國領 二郎 氏

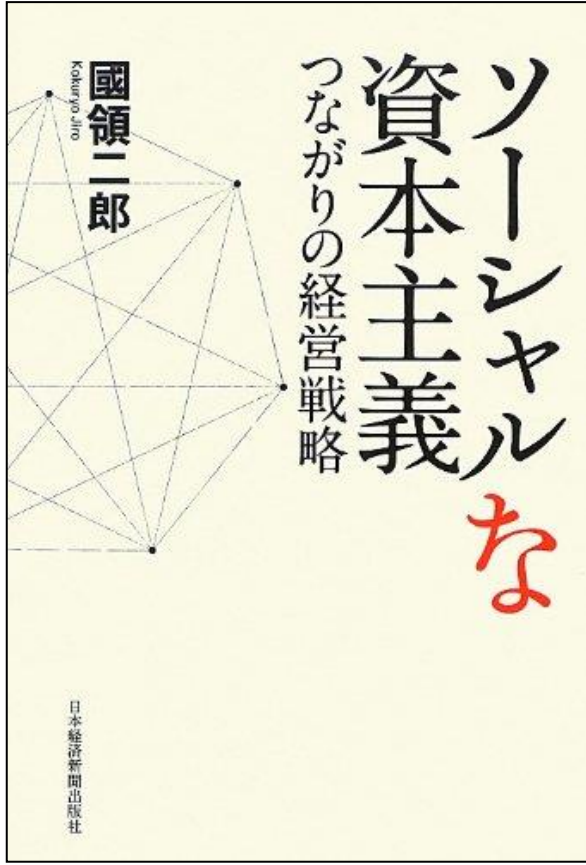
■ 略 歴

1982年東京大学経済学部卒。日本電信電話公社入社。92年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。93年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。2000年同教授。2003年同大学環境情報学部教授などを経て、2009年総合政策学 部長。2005年から2009年までSFC研究所長も歴任。2013年より慶應義塾常任理事に就任。

主な著書に「オープン・アーキテクチャ戦略」(ダイヤモンド社、1999)、「ソーシャルな資本主義」(日本経済新聞社、2013年)。



経済教室, 5Gが開く未来(上)IoTの革新 日本の好機, 日本経済新聞朝刊 (2019/12/3)



ソーシャルな資本主義, 日本経済新聞出版社 (2013/3/16)

11月例会

日時 令和2年11月10日(火)

テーマ 世界的潮流から見た昨今の日韓関係

・ポストコロナの世界秩序と新型コロナウイルスの多角的影響

講師 青山学院大学 地球社会共生学部 教授

熊谷奈緒子 氏

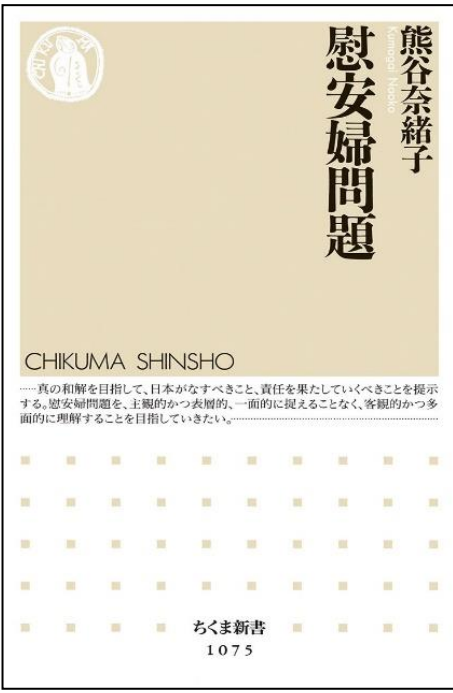


熊谷奈緒子氏

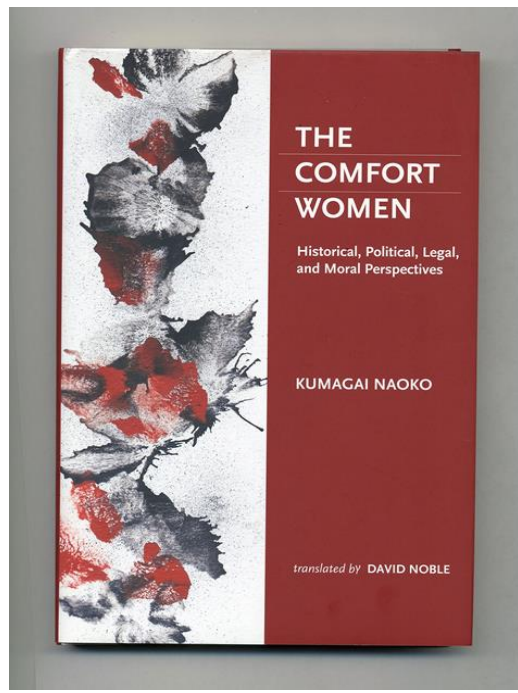
■ 略 歴

国際関係論。国際基督教大学大学院修士課程修了。ニューヨーク市立大学大学院で政治学博士号を取得。国際大学大学院国際関係学専任講師等を経て2020年4月より現職。特定非営利活動法人 日本国際平和構築協会 副理事。専門は、国際関係学、国際機構論、国際紛争解決論、人権、人道法、和解学、慰安婦問題、戦後補償問題。2016年に中曽根康弘賞奨励賞受賞。

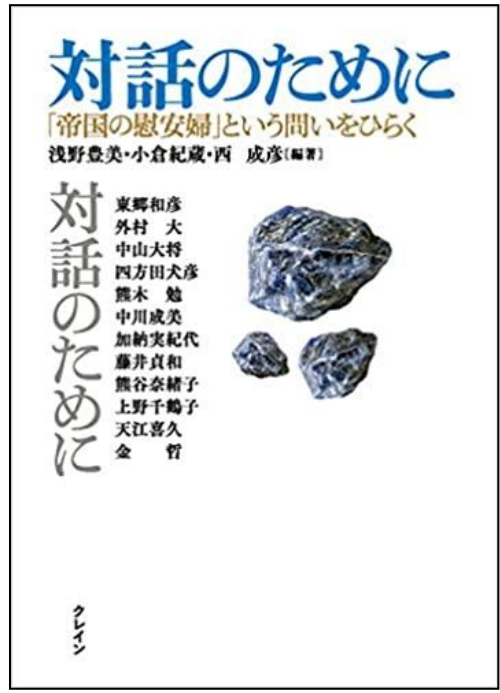
主な著書に『慰安婦問題』(英語版 *The Comfort Women: Historical, Political, Legal, and Moral Perspectives* (I-House Press), 長銀国際ライブラリー叢書)、『対話のために』(「朝鮮人『慰安婦』をめぐる支配権力構造」担当、クレイン、2017年)、『日米同盟と東南アジア』(第3章「タイの人身取引対策に対する日米の支援」担当、千倉書房、2018年)など。



『慰安婦問題』(ちくま新書、2014年)



The Comfort Women, I-House Press, 2016.



『和解のために』(クレイン、2017年)

日時 令和2年12月9日(水)

テーマ 戦国大名の経済学

・グローバル化の影響・世界経済への衝撃

講師 千葉経済大学経済学部 准教授

川戸貴史氏



川戸貴史氏

■ 略 歴

一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得退学。博士(経済学)。一橋大学特任講師等を経て現職。ケンブリッジ大学 アジア・中東学部 客員研究員を歴任。専門は、貨幣経済史。

著書に『戦国期の貨幣と経済』(吉川弘文館)、『中近世日本の貨幣流通秩序』(勉誠出版)等。

戦国大名の経済学

川戸貴史



1回の合戦の費用、縮めて1億円!!

銭がなくて
は戦はできぬ

講談社現代新書

戦国大名の経済学

川戸 貴史著

戦国大名の経済学
川戸貴史



貨幣経済史を専門とする研究者が、15世紀後半以降の戦国大名たちがどのように領国経営に当たったのか、明らかにする。当時の貨幣価値を現在と比較した上で記述を進めているので事情がつかみやすい。例えば、東北の大名、伊達成宗は所領支配を安定させるため、京に上った際、足利義政・日野富子夫妻らに賄賂の金品を贈った。その総額は現在の価値で約5億円に上るといふ。織田信長による安土城築城の総経費については豪華な内装もあわせると100億円近くに入ったとはじき出す。

グローバル化の影響も注視

信長というと、楽市楽座を押し進め、経済政策でも改革者のイメージが強い。だが、旧来のシステムを温存することも少なくなく、「現実的な政策を的確に選択していた」著者はみる。大名たちが苦慮したのが貨幣の扱いだ。供給源である中国の政情不安などで銭不足がたびたび生じた。その対策として出された攪銭令の経緯や効果についても詳しく解説する。各大名の鉱山開発や貿易政策にも多くの紙幅を割いた。戦国期の日本において「世界経済に衝撃を与えた」のが石見銀山の開発だった。世界は史上初めて「グローバル化」の時代を迎えていた。その時、日本国内で覇を競っていた戦国大名たちも世界経済の動向とは無縁ではいらなかったのだ。(講談社現代新書・1000円)

日本経済新聞(2020年8月15日朝刊)

戦国大名の経済学(講談社現代新書),講談社(2020/6/17)